

## 日頃からの備え

### 安全な避難路の確認を



- 避難場所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。  
→16～29頁へ
- オリジナルマップ（わが家の防災マップ）を作りましょう。  
→裏表紙へ

### 正確な情報収集と自主的避難を



- 防災行政無線やラジオ・テレビで伝達される洪水警報に注意しましょう。
- 雨の降り方についても注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。  
→7頁へ
- 最新の気象情報、浸水情報、避難情報、土砂災害情報、釜無川の水位情報等を収集しましょう。

### 非常持ち出し品の事前準備を



- 避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。市民防災マニュアルを参照しましょう。



### 避難の呼びかけに注意を



- 危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

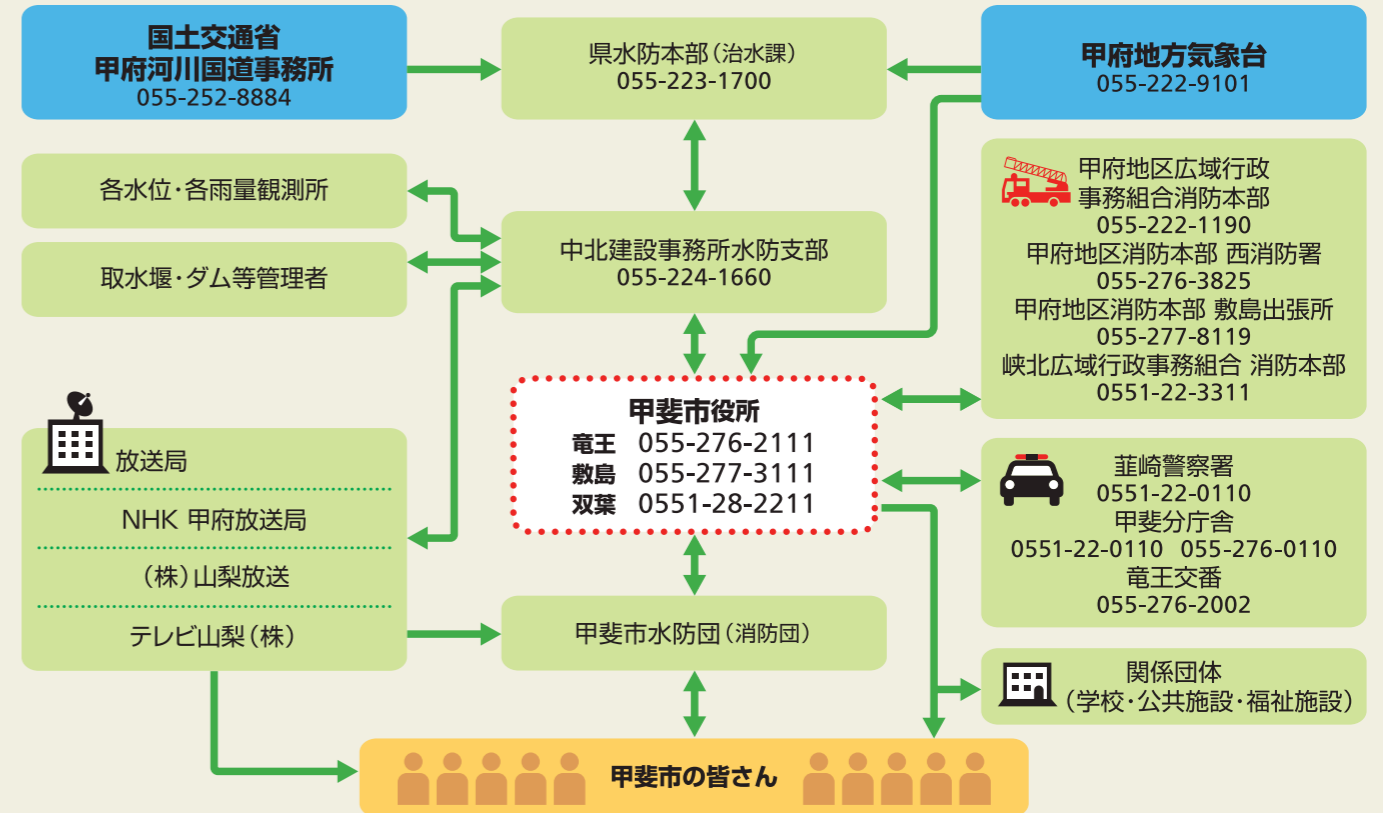
## 避難の呼びかけ

|      | 市からの呼びかけ   | 発令されるタイミング  | 皆様のとるべき行動  |
|------|--|---|--|
| 避難準備 | 〇〇地区の皆さん、大雨により〇〇川が増水しています。危険が予想されますので、避難の準備をして下さい。 | 水位観測所の水位がはん濫注意水位を超えた場合、または超えるおそれがある場合に発令される地区があります。 | 洪水注意報、警報が発令されたりサイレン放送や半鐘等が聞こえたら、いつでも避難できるように避難の準備を始めて下さい。体の不自由な人、お年寄りや子供は、 <b>早め</b> に避難しましょう。 |
| 避難勧告 | 〇〇地区の皆さん、〇〇川の水位が急激に上昇して危険な状態です。速やかに避難して下さい。        | 水位観測所の水位がはん濫危険水位に達するおそれがある場合に発令される地区があります。          | お互い助け合って指定された避難所等に、 <b>速やかに</b> 避難しましょう。   |
| 避難指示 | 〇〇地区の皆さん、〇〇川の堤防が決壊する危険があります。ただちに避難所に避難して下さい。       | 水位観測所の水位がはん濫危険水位に達し、さらに上昇するおそれがある場合に発令される地区があります。   | 指定された避難所等に <b>ただちに</b> 避難しましょう。  |

## 情報の伝達

台風、大雨時の洪水警報が発令された場合などの情報伝達と防災体制は、次の方法により行います。災害時または災害が発生するおそれのある場合は、災害対策本部や災害警戒本部が設置され、避難準備、避難勧告、避難指示が発令されます。

発令されると、防災行政無線によるサイレン放送や半鐘、オフトーク、広報車、その他（自治会長や消防団を通じて）などにより市民の皆様へ伝達するしくみとなっています。



## 洪水注意報・警報とは

洪水注意報および警報には、気象台から発表されるものと、国土交通省と気象庁との共同で発表されるものがあります。

### 甲府地方気象台から発表される洪水警報

\*雨量については目安です。

| 気象予報  | 1時間雨量   | 3時間雨量            |
|-------|---|------------------|
| 大雨注意報 | 盆地: 20mm以上<br>山地: 40mm以上                                | 40mm以上<br>80mm以上 |
| 洪水注意報 | 盆地: 20mm以上、ただし、総雨量 50mm以上<br>山地: 40mm以上、ただし、総雨量 100mm以上 | 40mm以上<br>80mm以上 |
| 大雨警報  | 平坦地: 40mm以上<br>平坦地以外: 50mm以上                            |                  |
| 洪水警報  | 平坦地: 40mm以上<br>平坦地以外: 50mm以上                            |                  |

### 国土交通省と気象庁から共同発表されるはん濫警戒情報

| 観測所名称  | 河川名 | 水防団待機水位 | はん濫注意水位 | はん濫危険水位 |
|--------|-----|---------|---------|---------|
| 船山橋観測所 | 釜無川 | 1.50m   | 2.00m   | 2.20m   |
| 金剛地観測所 | 塩川  | —       | 6.60m   | 6.90m   |